

# 最上川



# 県旗伝承

山形から新しい倫理運動を創造しよう！

## 目次

県旗伝承式並びに1350社達成記念祝賀会…2	平成23年度県役員のご紹介……………7	単会トピックス 朝礼コンテストへの思い…12
辞令交付式……………3	池田知之の青年委員長 挨拶……………7	〃 MSコンテストへの思い…12
鈴木隆一会長 挨拶……………4	平成23年度単会四役のご紹介……………8	倫理を学んで……………14
晋道純一幹事長 挨拶……………6	単会トピックス 新会長抱負……………10	スーパーバイザーとして 中村恒一県相談役…16
		全国行事から 鈴木隆一会長……………16
		編集後記……………16



社団法人 倫理研究所  
**山形県倫理法人会**

**県旗の重みに最善の努力を誓う**  
**県旗伝承式並びに1350社達成記念祝賀会**



中村県会長から県旗伝承

これが、県旗伝承後の鈴木隆一次期会長の第一声でした。

去る8月3日(火)、ホテルメトロポリタン山形に於いて「県旗伝承式並びに1350社達成記念祝賀会」が厳かに開催されました。

9月に県会長をはじめ、役員も新たに23年度がスタートするのに際し、新旧会長による「県旗伝承式」と、各単会のご尽力による1350社達成の偉業を讃え、今後のさらなる発展を誓い合う日となりました。

国歌斉唱に続いてモーニングセミナー委員会と朝礼委員会の活動表彰が行われ、次に、晋道純一普及拡大委員長が経過報告を行いました。今年度は1151社からのスタート。

・全ての単会が100社以上の会員企業を擁し資格割れをしないこと。  
 ・普及拡大目標1350社を必ず達成すること。

という目標は、完全達成。晋道委員長には中村会長の最終年度ということ、なんとか有終の美を飾るのだという強い思いが、常にあったようです。

「認可証及び県旗伝承！」という凜とした声に大きな拍手が起り、中村会長、鈴木次期会長、晋道次期幹事長が登壇されました。

最初に中村会長から鈴木次期会長に認可証、続いて県旗伝承が行われました。鈴木次期会長は、県旗伝承の後、冒頭の第一声に続けて、

「最善の努力をして山形県倫理法人会、そして各単会の皆さま方の倫理運動を更に活発化してまいりますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。」

と力強く宣言。伝承の重みをがっちり受け止められたようです。

また、次年度会長が替わられる単会も現会長から次期会長へ単会行動旗のバトンタッチをしたいとの申し出があり、単会行動旗の伝達式が行われました。

森本方面長の「今日を機に今まで以上に地域活性化のお役に立てるような、ひいては山形県活性化のお役に立てるような倫理法人会を創っていただきたい。」という式辞、宮城県倫理法人会保坂浩一幹事長からは、「山形県倫理法人会はとにかく堅実。1350社は必ずやるだろうと思いました。これからは山形と一緒にチームを組みながら北海道、東北を引っ張っていききたい。」という祝辞が続き、最後に中村県会長が万感の思いで過去を振り返りながら謝辞を述べられました。

記念講演の講師は普及事業部井上茂勝部長。冒頭から「今日はお祝いだから早めに話を切り上げましょう、懇親会の時間を長くしましょう。」と爆笑を誘います。とても楽しい学びになりました。また、お陰様で時間を長くしていただいた懇親会は、倫友の奮闘を讃え合うとても楽しいお祭りになりました。

(肩書きは前年度のもので)

「久しぶりに丸山竹秋理事長の認可書の中村会長からお読みいただきました。32番目ですか。歴史があるんだなあとつくづく思いました。」(法人局普及事業部 井上茂勝部長)

「次期会長になられる引き継ぎを見せていただいたのですが、まず、やってみてください。やらないとわからないことが一杯あります。」(宮城県倫理法人会 保坂浩一幹事長)

「隆一さん。次年度会長ご苦労なことではありますが、どうぞひとつ山形県の為に、また日本創生の為にやっていたくださいと思います。」(山形県倫理法人会 中村恒一会長)

「今、県旗を手渡されました。その重みとありますが、責任の重さを痛感しております。」

## 山形に新しい倫理の風を起す！ 辞令交付式

9月10日（金）に辞令交付式が厳かに開式されました。23年度がいよいよスタートいたしました。目標は定まっています。来年10月、24年度に入つてすぐに丸山理事長をお招きして、1500社達成と、県倫理法人会20周年のお祝いを盛大に挙行いたします。

辞令は中村恒一県相談役の法人スーパーパー、県役員、単位倫理法人会、秋津書道



中西本部長から会長に辞令交付



赤ネクタイは団結の証(寒河江市)



当日の会場の様子



決意を胸に、声高らかにスローガン斉唱

会、法人レクチャラー、県会長辞令の順。最後に一〇〇〇社倶楽部メンバー証が倫理研究所中西浩常任理事から授与されました。

交付後に鈴木県会長は、「家庭にも、職場にも、企業にも、そして地域社会にも倫理の清々しい風を吹かせよう。朝の達人になって自己改革に努めよう。倫理経営を進めよう。そして社会をよくしよう。日本創生の熱い思

いを胸に秘めて励まし合つて皆で進もう。私たちの進む道は自他共に幸せになる倫理の道であります。その道をどこまでも進んでいくことを今ここで皆で誓いましょう。」と壇上から力強く呼びかけました。

今年度から北海道・東北の担当になられた倫理研究所の荒木良仁方面長は、創始者丸山敏雄先生の言葉を引用しながら、激励の言葉として「倫理の実践により深い安心と喜びに満ちた人生を送る人が増えていくこと、また倫理の良さに触れる人や企業が増えることが道義国家日本を再建する基になると信じます。どうか今年度掲げられました目標を、国力回復の目安と見定めていただき、皆さま大いに活躍いただきたく存じます。」と述べられました。

また、お祝いの言葉として中西浩常任理事からは「最上川は源流から河口に注ぐの如同一県だけで流れています。これは、非常に珍しい川です。山形の母なる川、最上川のように各ブロックが気持ちを合わせて、鈴木会長を中心により良い山形県倫理法人会を皆さま方の手で築き上げていただきたい。」というお言葉を頂きました。

最後になりますが、会場でひとときわ目立った寒河江市倫理法人会は、まさしくレッドネクタイ軍団。熱血漢、岡崎大造会長の下、血の団結で今年度もきつと大活躍されることでしょう。なかなかオシャレですね。

# みんなで朝の達人になろう



山形県倫理法人会会長 鈴木隆一

山形県倫理法人会のみなさん、こんにちは。今私は深まる秋の光や風に感動し、「職場の教養10月号」の表紙、高知県ひまわり幼稚園の子供たちからも元気をいただいで暮しています。なんてかわいい笑顔でしょう。

## 子供たちの未来のために

こんな子供たちの未来のために、今私たちができることは何でしょうか？それは良い会社を育てること、良い会社を増やして良い社会を創り、良い社会を未来に遺すことだと思います。

います。それが日本創生です。

そして日本創生の出発点とは私たちが良い経営者になることではないか？経営者の自己革新がすべての始まりだと思おうのです。ではどうしたら自己革新が図れるのでしょうか？

## 朝は黄金の時間

自己革新の具体的な方法として、私はみなさんに「朝の充実」をお勧めします。

毎朝私は四時三十分起床しています。起きるのがつらい日もありますが、その時は

モーニングセミナーで歌う『夢かぎりなく』を口ずさむことにしています。暗くて眠たくて寒い朝でもこの応援歌を思い出せば大丈夫、新たな力が湧いてきます。そのあと朝ご飯前に三つのことをやります。

### 【決意、反省、計画づくり】

第一に「決意、反省、計画づくり」です。まず、「実践の決意」を誓い、「職場の教養」を読み、その日にやるべきことを手帳に書き込みます。次にチェック表に実践状況を記入し、反省と決意をノートに書き込みます。「朝は未来を計画し、昼は現在を行動し、夜は過去を懐かしむ」これが自然な時間の使い方だと感じています。鏡に向かってひげをそっている間にもアイデアがパツとひらめく。朝はまさしく黄金の時間です。

### 【散歩】

朝の第二の日課は散歩です。霞城公園の行き帰りに季節の変化を発見し、喜んでいきます。

### 【家事の手伝い】

第三には家事の手伝いをします。たった十分間程度ですが、とてもいい気持ちです。

自己革新は清々しくてうれしいこと。私は五十六歳ですが、この歳でも朝の力を借りてまだまだ成長できるのです。みなさんもきっとできます。これからが一層楽しみます。

## 平成二十三年度山形県 理念と方針

### ■理念

- 朝、それは喜働のための黄金の時間。
- ▼生きる喜びと自己革新への意欲を毎朝リセットし、この喜びから出発しよう。
- ▼プラスの言葉を使い、人を育て、この山形県から新しい倫理運動を創造しよう。
- ▼自他共に幸せになるために、私たちは倫理の実践からスタートしよう。

### ■スローガン

生きる喜び、  
朝の達人になる

### ■普及目標

平成23年8月3日  
1450社

### ■当面の目標

平成23年10月、山形県「創立20周年記念式典」と「1500社達成祝賀会」を丸山敏秋理事長ご出席のもと挙行する。

### ■主な方針

- 一、「理念と方針」を文書で発表する。
- 一、9月に県内11単会を訪問し、理念と方針を伝える。
- 一、「月次経営方式」を実行する。  
(月単位で、計画↓実行↓チェック)  
↓改善実行のサイクルをまわす)
- 一、「単会の活性化の見える化」を図る。数値データで活性度を表し問題の発見と解決に努める。
- 一、より多くの会員に自己革新の喜びと普及の喜びを体験してもらう。
- 一、普及はまめに毎月純増一社を達成する。
- 一、県委員会活動により単会を支援する。

## 地域社会の太陽になろう

これらをぜひ実行し、倫理法人会が地域社会の太陽になりたいと願っています。  
そのために、会員一人ひとりが「もっとと良くなりたい、成長したい」と強く願う行動し、実践の喜びを倫理法人会に結集しましょう。  
この秋こそ、きっと朝の達人になろう、生きる喜びを実感しよう。

### ご覧になりましたか？

10月13日付の山形新聞朝刊「この人」というコラムに、鈴木会長が掲載されました。早速講演の申し込みがあったようです。このところ倫理法人会の活動が立て続けに山形新聞紙面に紹介されています。今、倫理法人会に注目されています。この流れを倫理の普及に役立てたいものです。



## 晋道幹事長所信表明

私の役目は、鈴木隆一県会長の山形県倫理法人会に対する思いを形にすることです。

鈴木隆一氏は第8代の山形県会長であります。氏はこれから、8代目の会長に相応しいような進化を遂げなければならないと私は思っております。その進化とは何かといえますと、7代目までの会長が築き上げてこられた倫理法人会を発展させて、さらに地域企業の活性化を高めることができ、さらに健全な繁栄に寄与できる、山形県に「無くてはならぬ社会教育団体」としての山形県倫理法人会



山形県倫理法人会

幹事長 晋道 純一

を創っていくことです。これが、私が鈴木会長と共に一番やりたい事です。

鈴木会長は県内で強い影響力のある社長です。山形県や山形新聞社への表敬訪問など、会の存在感を高めるための新しいやり方を可能にしております。そういう意味では、鈴木会長に与えられた使命は、知名度があり存在感のある山形県倫理法人会にすることのような気がいたします。そのお力をお借りしながら、山形県倫理法人会というものを、山形県民から、また山形県の企業経営者からもっともっと知っていただきたいと思いません。

今年度の普及拡大目標は1450社です。現時点で100社以上の普及拡大となりますが、何としても会長の思いを形にという部分で視野にある数字です。ですから1450社をまず達成して、知名度のある倫理法人会を作り上げます。普及拡大のやり方としては、鈴木会長の方針である各単会ごとに毎月純増1社という方式を取っていきます。お互いが切磋琢磨しながら数字目標を割ることなく、立てた目標を確実に達成していきましょう。

先頃の全国二役会で、どういう人が真剣な倫理実践に励むかということをお山理事長が話されておられました。①よほどの苦難に遭遇した人。②強烈な向上心、求道心の持ち主。③純粹倫理の深さ、恐ろしさを判っている人。皆さんはいかがでしょう。私は、①

は特に体験上良く判ります。

人生は山あり谷ありますが、山が高ければ谷は深くなります。問題は、谷が深くなると苦難や逆境などが大きな試練になったとき。そこが倫理の発揮のしどころなのです。その時に備えるために私たちは倫理を勉強しているのです。

また、倫理を学ぶというのはあくまで手段であって、目的は家庭や会社を良くすることです。中小企業経営者は逃げ道が無いので自発的に倫理を学びに来ます。そういう自発的な姿勢が経営幹部、社員の積極性に繋がっていけば、どんな会社は良くなります。倫理は何を学ぶかではなく、何のために学ぶかが重要です。私は、倫理なくして自己の成長はないと思っております。良く変わるためには真剣に自分を磨かなければならないと思うのです。是非、皆さんも倫理をベースにした「倫理経営」を実践してほしいのです。

倫理は心の品質を高める地元の寺子屋みたいなものでしょうか。社長の寺子屋です。私には、遠くに行つて高いお金を出す勉強会よりも、地元の寺子屋の方を活かす方が良いと思います。

21世紀は心の時代です。社長の寺子屋でいろんな人と積極的に出会ってほしい。「大才は袖すりあう縁を生かす」のが柳生の教訓。これは倫理に叶う言葉です。皆さんも袖すりあう縁を活かす人になりましょう。

平成  
23年度

# 山形県倫理法人会

## 役員紹介



会長  
鈴木 隆一  
(株)でん六



副会長  
伊藤 明彦  
(株)伊藤製作所



副会長  
小島 勤  
(株)小島洋酒店



副会長  
菅原 勝安  
(株)グローバルマシーン



幹事長  
晋道 純一  
進和ラベル印刷(株)



事務長  
天口 信裕  
(株)アルファ・コム



朝礼委員長  
畑田 一志  
(有)畑田鐵工所



研修委員長  
國分 浩実  
鈴木ゴム(株)山形工場



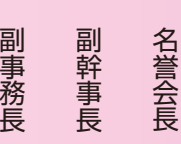
MS委員長  
加藤 眞佐夫  
(株)加藤紙器



普及拡大委員長  
桜井 仁  
布施建設(株)



普及拡大委員長  
川合 賢助  
川合賢助税理士事務所



副事務長  
市村 清勝  
(株)市村工務店

名誉会長  
本間 利雄  
(株)本間利雄設計事務所



青年副委員長  
寺島 俊一郎  
(株)丸俊

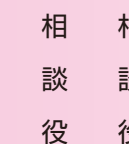


女性副委員長  
菅野 美奈子  
AISOH企業組合



広報副委員長  
土屋 和浩  
大場印刷(株)

朝礼副委員長  
大山 哲  
(株)医療救急サービス



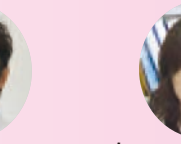
相談役  
中村 恒一  
(株)マルナカ中村商店



相談役  
近 清剛  
(株)三奥屋



相談役  
三浦 孝太郎  
(株)三浦板金製作所



青年委員長  
池田 知之  
(有)サンジン

## 青年委員会活動表明

### 若手経営者・社員が

### 倫理を学ぶ機会を

青年委員長 池田知之



寺島副委員長と池田委員長

平成23年度は青年委員会発足元年となります。倫理活動を通して周りを見渡しますと、若手の仲間が非常に少ないことに気がつきます。青年委員会ではその名の通り、若手経営者と若手社員の皆を対象に、倫理活動をこれまで以上に身近な存在にすることを目的とします。その為にも、今年度は山形県内の各単会へ青年委員会を立ち上げ、組織活動の体系をつくるのが重要だと考えています。そして、年2回の開催を目安とした若手経営者・若手社員向けの講演会やセミナーを開催することも予定しています。

若手経営者にとっては倫理活動を学ぶ機会が少なく、自分にはまだまだ必要無いかもしれないと考えるまいかと思いますが、若手だからこそ、倫理活動の本質を早い時期から知っておくべきだと常々感じています。青年委員会が若手の新たな仲間作りの出発点となるよう、「青年」らしい企画と行動力で邁進して参りたいと思います。

## 庄内最上ブロック

### 酒田市倫理法人会

地域と企業の活性化を目指しています。



会長  
安藤 政則



副会長  
堀 豊明



副会長  
木田 昭三



専任幹事  
佐藤 仁



事務長  
佐藤 英夫

## 置賜ブロック

### 米沢市倫理法人会

愉しく有意義、そして存在感のある倫理法人会を目指しています。



会長  
相田 晃輔



副会長  
木村 健彦



副会長  
石井 輝雄



専任幹事  
宮下 徹



事務長  
齋藤 喜一

### 鶴岡市倫理法人会

明るく、楽しく、倫理を学びそして実践する法人会を目指しています。



会長  
伊藤 みよ子



副会長  
栗本 正幸



副会長  
三浦 忍



専任幹事  
尾形 昌彦



事務長  
佐藤 正晴

### 長井市倫理法人会

明るく実践、幸の道を掲げて倫理運動の定着を目指しています。



会長  
原 行雄



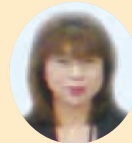
副会長  
加藤 眞佐夫



副会長  
伊藤 誠二



副会長  
高石 一夫



専任幹事  
那須 喜美子



事務長  
青木 勝広

### 新庄最上倫理法人会

家庭・会社・地域の幸せ創りのために、純粋倫理の理解を深めて万人の幸福を目指しています。



会長  
鈴木 富士雄



副会長  
阿部 慎一



副会長  
上嶋 竜一



専任幹事  
沼澤 正則



事務長  
田中 栄造

### 南陽市倫理法人会

一歩ずつ着実な発展を目指しています。



会長  
和田 廣



副会長  
高橋 良一



副会長  
川井 正市



専任幹事  
飯塚 一博



事務長  
青木 勲



平成23年度

# 単会四役紹介

## 村山ブロック

### 山形市倫理法人会

山形市に倫理運動を定着させ、地域の皆様から期待される倫理法人会を目指しています。



会長  
柴田 津與志



副会長  
大風 茂吉



副会長  
荒井 捷夫



副会長  
佐々木 吉嗣



専任幹事  
佐藤 敬一



事務長  
加藤 章

### 寒河江市倫理法人会

歴史と文化を織り成す気品ただよう美しい街、元氣、勇氣、やる氣、寒河江市倫理法人会を目指しています。



会長  
岡崎 大造



副会長  
杉沼 清二



副会長  
多田 健一



専任幹事  
板垣 和憲



事務長  
大波 龍一

### 上山市倫理法人会

楽しく学べる上山市倫理法人会を目指しています。



会長  
田島 誠一



副会長  
堺 健一郎



専任幹事  
谷江 正昭



事務長  
吉田 吉康

## 庄内最上ブロック

## 村山ブロック

## 置賜ブロック

### 天童市倫理法人会

10年を節目に新たな幕開け！若手投入、活力集団を目指しています。



会長  
五十嵐 慶三



副会長  
仲野 益美



副会長  
山口 元



専任幹事  
水沢 正志



事務長  
長岡 美恵子

### 山形市蔵王倫理法人会

感動創輪、感動と出会いの輪を拡げ日本創生を目指しています。



会長  
池田 修一



副会長  
布施 富将



副会長  
中村 勝義



専任幹事  
金田 雄介



事務長  
池田 隆

# 単会トピックス

## 新会長抱負



米沢市倫理法人会  
会長 相田晃輔



米沢市モーニングセミナー

平成23年度米沢市単会会長の相田晃輔です。まだ若干？48歳の若造ですので単会会長という大役には不似合いな輩であり、極めて心許ない訳ですが、倫理ではお役を頼まれたらまずは「ハイ！」と応えよとの教え。素直な私はそれに従ったままでなのですが、自然環境を含め世の中の変化が激しくまた予想外の現象が多発する昨今、私のような者に会長職が巡って来たのは（勿論想定外！）、そんな時代の流れからなのか？と勝手な解釈をして、まずは自分らしく取り組んでみようと思つたところなんです。どうぞ宜しくお願ひ致します。さて、私が今一番思うのは、活動している人が偏らないようにしたいという事。会員で

あれば誰しも役員にも会長にも気兼ね無くなる雰囲気にしたいたいものだと思っています。

そして、MSを中心とした単会活動の充実を図りつつも、会員同士親しく楽しく懇親を深め、かつ各々がより良い状況になる事を心より願ひながら活動したいと思っています。



酒田市倫理法人会  
会長 安藤政則

法人局スローガン『企業に倫理を、職場に心を、家庭に愛を、めざせ10万日本創生』。

山形県倫理法人会スローガン『生きる喜び、朝の達人になる』。

酒田市倫理法人会スローガン『深く倫理を学び活力溢れる職場をつくらう』。

酒田市倫理法人会もお陰様で7年目に入りました。いよいよ正しい道を学び、正しい行いが強く求められるときがまさに到来している時です。今こそ深く、正しく、楽しく倫理を学び、血とし、肉とし、明るく和やかで活力溢れる職場を作り、今やるべき事に勇気を持って行動しよう。それがために以下のことに力を注いでいきましょう。

・倫理の学びを家庭、職場、地域に、広めよう。

・モーニングセミナー45社90人参加を常態化し、活力溢れる会社にして行こう。

・職場の教養を用い活力朝礼を職場に根付かせよう。

・充実した新入会員セミナーを開催し、深く倫理を理解して頂こう。

・役員朝礼のノウハウを職場に持ち帰って頂こう。

・仲間を増やそう。倫理の楽しさを知って頂き165社、2年間で180社以上を目指します。

・会員同士の交流を深め合おう。

・前向きで明るく楽しく学ぶ倫理法人会に磨きをかけよう。

以上のことを目指し全員で活動していきましょう。宜しくお願ひいたします。



上市市倫理法人会  
会長 田島誠一

## まず自分のために

上市市倫理法人会は設立5年目を迎え、私が3人目の会長になりました。まだまだ修行中の身であります。難しく考えず前向きに楽しめればと思っています。



上山市モーニングセミナー

最近、私は母とゆっくり会話できるようなりました。急いでもないのに、母のいつ終わるともしれない

長い話がとても苦手でした。聞いているうちイライラしてしまい、毎回いがみ合っていたような気がします。そうすると母は、私との会話を避けるようになりギクシヤクした家族になっていました。その度、妻に諭されてい

ましたし、子供にも悪いと思っていました。今は違います。イライラしない家庭を作れるのは、自分だと解りました。モーニングセミナーのおかげです。

晋道相談役と山川前会長がこれまで築き上げた、上山に必要な会という崇高な理念を引き継ぎながら、楽しく学べる上山市倫理法人会を目指したいと思えます。



鶴岡市倫理法人会  
会長 伊藤みよ子

秋山相談役から前畑田会長、そして私に渡されたバトン。個性的な法人会と言われる鶴岡。プレッシャーを感じながらも「ええいッ」と腹を括り会長を引き受けました。とにかく明るく楽しい会にしたいです。役員同士が仲良く楽しく倫理を学び、実践していれば黙っていても仲間は集まる。はずですよ。いやそうなればいいなと思います。

まずは、多くの会員の皆さんにモーニングセミナーに参加していただき、学ぶ楽しさを知ってもらう事、それにはビシツとした魅力あるセミナーづくりを考えていかなければなりません。

そして普及拡大。鈴木会長の普及方針をもとにコツコツと少しずつ実績を積み、名前だけでなく参加型の倫理法人会を目指して取り組んでいき



鶴岡市モーニングセミナー

ます。当然一人では出来ません。役員そして会員の皆様にはご指導とご協力よろしくお願ひいたします。



南陽市倫理法人会  
会長 和田 廣

私達南陽市倫理法人会は、設立以来2年間佐藤紀昭会長のリーダーシップの下、一歩一歩着実に成長をとげて参りましたが、もう一歩大きく成長発展する為には、まず1つ目に**基本指導されている事に忠実に対処していくこと**であると考えています。そして、2つ目には**役員**の意識の改革と**役員朝礼への参加者を増やす事**です。3つ目には、**元気で明るく一日のスタートにふさわしい雰囲気をつくり上げていく事**だと考えています。

「人を育て発展する企業づくりを目指す仲間を増やそう」をスローガンに、私達の仲間の企業が発展する為には、まず自らが変わり、そして人を育てる事で会社の発展、円満な家庭、家庭教育の充実、そして地域における活躍等につながる仲間を増やしていきたいと思っています。



南陽市モーニングセミナー

## 二年間を振り返って



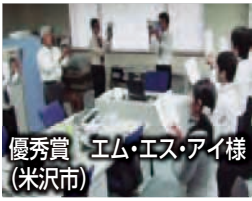
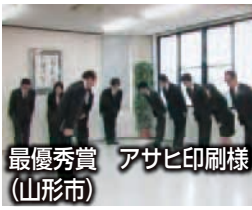
山形県倫理法人会  
前朝礼委員長 秋山周二

山形県の朝礼委員長というお役を拝して二年になりましたが九月一日をもって退任し、畑田新委員長にバトンタッチいたしました。新委員長もナゼカ私と同じく鶴岡市倫理法人会です。ともあれ、二年間にわたりお世話になりましたこと心より感謝しております。

### ★二年間の自己評価

達成率、35〜40%でしょうか。当初の目標が「活力朝礼モデル事業所を8社」、「二年で合計14社以上」としたのですが、結果は「二年で6社（実質5社）でした。秋山鉄工（鶴岡）、グローバルマシン（酒田）、布施建設（寒河江）、アサヒ印刷（山形）、エムエスアイ（米沢）の5社です。ただ、この

5社ほかにも、私が知っているだけで、もう7、8社はすぐにでもモデル事業所になれる



企業があります。私が知らないだけで他にもあると思います。

### ★成果

朝礼ビデオコンテストを二度やりました。活力朝礼導入、改善、進化、認識を深めること、自社のレベル確認などに少なからずお役に立てたかと考えています。今までに全国のあちこちの県で、ちらほら、「実演」による活力朝礼コンテストを開催しています。もちろんそれも良いのですが、ある弱点があります。

「負荷が大きい」ことです。全県各地、各単会から、5〜8名のチームを集めるにはかなりのパワーを要します。そのため、どうしても続けることが難しくなります。そこで、負荷が小さくて続けられる「ビデオコンテスト」を選択したのです。

### ★後悔していること

朝礼導入、進化への動きが「線」や「面」に出来ず、いくつかの「点」で終わったことです。全県的な「面」として展開しようとするなら、個人の頑張りだけではむずかしい。やはり「戦略」「仕掛け」を先に作らないとうまく動かないんだなあと痛感しています。

### ★今後について

私は退任しますが、後任の畑田新委員長が

同じ鶴岡。ということ、「お前はまだやり残したことがあるから新委員長をサポートして活動を続けなさい」という意味だろう、と勝手に解釈しています。

仮にそうではなくとも、朝礼は私にとってライフワークのようなもの。企業での朝礼導入、改善・進化のためには決して力を惜しみません。私に出来ることなら何なりとお申し付け下さい。

「じゃ、明日の朝、来てくれ」って？  
ハイ、明朝、御社の朝礼に伺います。

### モーニングセミナー コンテストへの思い



山形県倫理法人会  
前MMS委員長 桜井 仁

私共の活動の基本は実践にあります。その中でも毎週のモーニングセミナーへの出席は、最も熱心に取組むべき実践である事は言うまでもありません。

週一回早朝より例会場に足を運び、倫友と挨拶を交わし、整った会場、張り詰めた空気の中で「夢かぎりなく」からスタートします。

「朝の挨拶、葉の輪読」では更に気持を高



6月、7月の2カ月間の計8回のモーニングセミナー活動が対象となりました。前半からかなり気合を入れなうと思っても、とても追いつくものではありません。計画的にしかも早目の目標設定をする事が肝要であり、実

揚させて雑念を払い、より純情な心境に向かつて行きます。続いて会長挨拶、会員スピーチ、そして体験談等の講話を拝聴して、いよいよ倫理の世界に魅き込まれて参ります。仕舞には私共の胸に爽やかな風を吹き込み清々しい朝に仕立ててくれます。

朝の小一時間でこれほど充実した体験はそうございません。一つの事に集中する、本気になって心を注ぎ込む、この事が一週間の惑いなどのもやもやを払拭して、新たな気力を掻き立ててくれます。

このような朝の充実した時を、会員や会員以外の多くの方に体験し、学んでもらう為に参加人数の目標を立てて競い合い、それを達成する事でモーニングセミナーの活性化に繋がりたいと言うのが「モーニングセミナーコンテスト」であります。

今度の「平均40社50名」の目標はかなり高いハードルであったと思います。平成22年

際後半にさしかかった時の達成可能な単会は2単会に絞られたようでした。

### 山形市蔵王倫

理法人会は、理想的な展開で目標値をクリアして受賞されましたが、やはり日頃からのしつかりしたモーニングセミナー活動の賜であり、また目標に向けての、会員一同の結束力と集中力が功を奏したと思います。モーニングセミナー活性化が、全てを物語るという証左である事を痛感致しました。山形市蔵王倫理法人会に脱帽です。

寒河江市倫理法人会は、目標値すれすれのところで達成、受賞となりましたが、いざという時の集員力と、なんとかすると言う持前の泥臭い根性で、成し遂げたと思います。また私の面目を潰せないと言う友情に感謝です。

コンテストの方法につきましては、当初様々な方法や数値が取り上げられましたが、最終的に短期間でかつ見える数値が望ましいとの協議の元、「平均40社50名」が設定されましたが、決して平等な数値ではなかったと思われれます。要は各単会なりにモーニングセミナーの出席動員数を、いかに増員するかを協議して目標値を定め、実践して達成することだと思えます。それがモーニングセミナーと単会活性化に繋がる事は請合いです。



入会してモーニングセミナーに出席したことでより早起きの習慣が付いて来ました。一日のスタートが如何に大切か、朝は気づきの時間であり、多くの事が吸収出来る時間でもあります。いつしかモーニングセミナーに最優先で出席するようになり、朝の有難さを実感しております。

モーニングセミナーのメニューは、内容が程良くしかも、参加型に構成されている為に終了時には心地良さを満喫できます。またその後の朝食もモーニングセミナーパートIIの感覚で講話者と交流をしながら更に気持ちを充実する事ができます。

モーニングセミナー講話者の選定は、大変難しく神経を使いますが、モーニングセミナーの良否は、その限りではないと思えます。本人のモーニングセミナーに向かう姿勢や、参加者への思いやり、講話者への感謝の心、そしてしっかりと挨拶というものが、会場に満ち満ちていれば、多くの方からご支援とご賛同いただけるものと確信致します。役員朝礼も重要な活動であり、モーニングセミナー活動の仕上りに直結しております。しかるに、役員数を増員する事も、モーニングセミナーの活性の一助になるものと思えます。

新年度のモーニングセミナーコンテストに期待をして、また単会のモーニングセミナーの、更なる活性を願いつつ記させていただきます。

# 倫理を学んで

毎回のように入会者にMSに参加されている会員の中から。



天童市倫理法人会  
高橋 進一

## 今日という一日の枠のなかで

『今日一日の枠のなかで生きる』という言葉が私の座右の銘です。22歳のときから常に胸に刻み一日一日を生きていく規範にしています。朝、目覚めたその時から「時」を自分でコントロールし、決して、流れる時のなか身を置くのではなく「時をつかみ自らの意思ある行動に時がついてくる」といった気持ちで昨日や明日はシャットアウトし今日という一日の枠のなかで生きています。

縁があつて倫理法人会に入会させていただくことができました。MSには喜んで進んで参加させていただいております。例会当日は、多方面にわたる多種多様な講話を拝聴して、一日のスタートを切れるというそのものが私にとっては自身の座右の銘に近づき、より充実させるべくものと強く実感していま

す。講話では、各々の生い立ちや体験、そして「今を生きていること」から表現される言葉すべてが深く心に刻まれ、純粋に無心にさせてくれるほどの感動・感激を与えてもらっています。そのように抱いた心で送ることができる一日は、平常時とは違った「新鮮な感じのするさわやかさと朗らかさ」を実感する幸福があります。そして、その幸福に気がついたときの「喜び」をも体感することができています。

また、私自身の入会時期は冬でした。真っ暗な冬の朝に例会へ向かう気持ちは寂しさにも似たような気持ちです。ですが、徐々に白んで山際の空が少し明るくなっていくという富む季節を体感できる喜びもMSに参加すればこそ！と感じています。

心に刻みこまれる講話を拝聴することで純粋、無心なる心を抱けること、その心で今日という一日の枠の中で生きていけること、そのうえで人と人との関わりからさらに幸福感を覚えることができること。これらのことこそがMSで得られることであり、私にとってMS出席へ駆り立てられる魅力となっています。

## MSは幸運の創造の第一歩

「倫理法人会？ああ、あの宗教じみたやつだろ？」よくあるリアクションに対する私の基本的なレスポンス、それは「そうだよ」です。そのため「お前は新興宗教に入信したのか？」といったいらぬ心配（笑）をいただくことも少なくありません。

昭和40年代後半生まれの所謂「団塊ジュニア」でカテゴライズされる同年代の宗教アレルギーは相当なもので、アレルゲンは「宗教」「カルト教団」という算式・思い込みにあるようです。個人は特定の宗教団体に所属しているわけではありませんが、（信仰の自由を侵さない程度に正直を申し上げれば）「排他的な一神教」に対する違和感とは別の次元で「宗教心」こそが大切なのだと思っています。

「ご先祖様に感謝する」も「お天道様が見ている」も「お米一粒に七人の神様がいる」も広義の宗教と捉えれば、現代の私たちが決して忘れてはいけぬ気持ちこそ宗教心だと言えるのではないのでしょうか。私は、その更に深いところを倫理法人会で学ばせていただいています。

特筆すべきはやはりモーニングセミナーです。幸運はふと訪れてくるものではなく、自分自身で創造し得るものだと思付いたのも丸山理事長の講演がきっかけでした。毎週水



長井市倫理法人会  
遠藤 一徳

曜日早朝の様々な出会いこそが、「幸運の創造」その第一歩目だと思っています。

もしかしたら「お付き合い」で入会されている方もおられるかもしれませんが、会員でありながらモーニングセミナーに参加しないことは、ゴルフをしないのに「お付き合い」でゴルフ保険に加入しているようなもの。ご先祖様に「もったいない」と怒られます（笑）。

若輩なのに生意気な自分を時に反省しながらも、大先輩に囲まれた楽しい朝の会を毎週心待ちにしています。



新庄最上倫理法人会  
井上 久信

### 今日も進むために

皆さん、おはよう御座います。この言葉一言でご自身の心がなんとなく楽しくなる、高揚するものを感じる、そんな瞬間が味わえる事を体験させて頂いたのがモーニングセミナーの時間です。それとハイの返事です。清々しさが残ります。

六十二年人生を重ねた現在でもその一言が自分の近くで大切な人達に出ない自分を反省する事を気付かさせて頂いています。自然に当たり前の行いとして口から発せられ目も語

りかけ、そんな家庭、職場の一人でありたいと思う様になった所です。

もう一つ、世の中のせいではなく自分が変われと言う教えです。仕事のスリッパ作りを通して見る中で世の中がおいしいと言う思いが端々に浮かんで来たのが今迄でした。

大変な中にも倫理法人会に参加させてくれている職場を考える時、経営者で有る自分が変わって下さいと言われている事と思える様になりました。私にとってモーニングセミナーの場は、「今日も進もう」の繰り返しを継続する後押ししてくれている様な気になれます。皆さん今後ともよろしく御願致します。ありがとうございます。

### ご覧になられましたか？



9月14日 山形新聞朝刊掲載

## 富士高原研究所「経営者倫理セミナー」参加のご案内

研修所の受入れ数の関係上早めの予約申し込みとなりますが、この機会を活かし会員の皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

山形県倫理法人会 会長 鈴木 隆一 研修委員長 國分 浩夫

**研修日** 2月1日(火)～3日(木) (但し前泊となります。)

**内容** 経営者としての人生を点検総括、社会に貢献する経営道の基本を体得します。使命感を確立して実践の方途を策定する2泊3日です。

**人数** 40名 (尚、定員になり次第締め切らせていただきます。)

**参加資格** 経営に携わる取締役以上の役員。  
詳しくは県事務局にお問い合わせください。

**お問合せ** 参加の申し込みは直接、県事務局 (斎藤) まで。  
TEL 023-647-5582 FAX 023-646-7660



## スーパーバイザーの 辞令を戴いて



山形県倫理法人会 相談役  
法人スーパーバイザー  
中村 恒一

会員の皆様、お元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。県会長時には、会員並びに関係者の方々から大変御世話になりましたこと、心より御礼申し上げます。

ホツとする間もなく、今度は、想いもよらないスーパーバイザー（SV）の辞令を戴き驚嘆しております。これまでのご恩に報いるべく奉公してまいります所存です。

さて、SVとは？と何人かの先輩SVにお尋ねし私なりにまとめてみました。

- ① 創立者丸山敏雄先生の純粹倫理を多くの方に伝えし、理解して頂くこと。
- ② 日本創生実現の啓蒙活動を通して実践者育成に努めること。

私は、抛らば大樹の陰、といった消極人間でした。それが倫理と出逢い、「汚れていたから清掃すれば良い、辛く苦しければ感謝すればよい、人生は急がず、先のことを心配せず、これでよいと明るく朗らかに生きる」との信にして19年間過してきただけなのにとの思いでいます。「いま」を大切に精進してまいります。

## 滝口長太郎さんを 偲んでお墓参り

県会長 鈴木 隆一

去る十月一日、千葉県船橋市馬込霊園を訪れ滝口長太郎さんのお墓をお参りしました。前夜までの雨も上がり爽やかな秋風が広い霊園を吹き渡っていました。

滝口長太郎氏は「企業に倫理を 職場に心を」のスローガンを掲げ、昭和五十五年十月一日に千葉県倫理法人会を設立、さらに「百社百ヶ所」達成のため全国行脚を行いました。その人物像は「打つ手は無限」の言葉によく表れています。柔軟な発想と型破りな行動で問題を解決し幾多の困難を乗り越えてきた実業家らしい言葉です。

私が焼香した目の前に長方形の墓石があり、そこには「さあ、ゆっくりねむらうぜ」と刻まれていました。死んだ後までリーダーシップを発揮し墓地の仲間に呼びかけるとは、いかにも長太郎さんらしいと思えました。

長太郎の思いから三十年、でもまだ道半ばです。早く十万人社に到達し、願いどおりゆっくり眠らせてあげたいものです。

## 編集後記

山形県倫理法人会 広報副委員長 内山和彦

9月よりメンバーも一新され新たな広報委員会がスタートしました。土屋新委員長の先導の下、副委員長を拝命し、鈴木新会長の熱い思いを形にし、普及拡大の支えとなり、倫理法人会がもっとメジャーになる為に、各単会の広報委員長、副委員長の皆さんのご協力の下、新しい広報活動にチャレンジし、広報誌「最上川」の作成にも一生懸命取り組んでまいります。

まだ28歳と若く、広報の経験も浅いですが、どうぞ宜しくお願い致します。ご意見などございましたら、遠慮なくお聞かせ下さい。



URL  
<http://www.yamagata-rinri.net/>